



図書館サポーターズだより

2014年7月1日発行
61号

明日に吹く風

夏本番となり暑い時期が続きますね。涼を取りながら読書でもいかがでしょうか。今月もサポーターズが図書をご紹介します。気になる図書がありましたら、ぜひ図書館にいらしてください。

* 図書館サポーターズ推薦図書 *

● 絵で見る十字軍 / 塩野七生 / ギュスターヴ・ドレ / 新潮社 230.45 | sh75 1F メインカウンター

歴史に名だたる、キリスト教とイスラム教の戦い“十字軍”。長きに渡る世界の二大宗教の壮絶な戦いの序曲を塩野七生の解説とフランスの画家、ギュスターヴ・ドレの絵で触れることができます。



見開き左ページにはドレの美しくも荘厳な絵が紹介、反対の右ページには絵のエピソードとその展開した場所の地図を配置され解説本としては申し分無く、十字軍を詳しくは知らない人でもきっと理解を深められることでしょう。短い解説文と半分のページが挿し絵の為、時間も掛からずに読みやすい本となっています。少しでも興味を持ったらお気軽に読んでみてください。(M.W)

● 犬から聞いた素敵な話 涙あふれる 14 の話 / 山田花 / 東邦出版 913.6 | Y24 1F メインカウンター

クラスで無視され、いじめられていた主人公、鈴(スズ)。親にもいじめられていると言えずに毎日をごしてました。そんな寒くなり始めた10月のある日、鈴は小犬を拾います。寒さで弱っていた小犬を翌日、病院へ連れていき診てもらうと、小犬は風邪と目が見えないことが分かります。鈴は小犬にリンと名付け、家族と協力してリンの世話をします。そしてリンの世話を一番積極的にやっている鈴に、ある変化が出始めます。

この本は実話をもとに再構成した犬と人間の感動物語です。14話の物語が収録されています。短編なので、ひとつひとつの物語は短く、絵と写真も載っており、とても読みやすい本だと思います。犬を飼っていないくても、あたたかく、しあわせな気持ちになるのでは是非読んでみてください！(R.S)



● 容疑者 X の献身 / 東野圭吾 / 文藝春秋 913.6 | H55 1F メインカウンター



俳優の福山雅治さんが主演を務めた人気シリーズの『ガリレオ』の中で、映画にもなったストーリーの原作が私の紹介する『容疑者 X の献身』です。物語は、主人公・湯川学の過去の友人である石神がアパートの隣に住むお弁当屋に努める靖子に恋心を抱くことから始まる・・・というものです。

人間の感情の陥る過ちやゆがんだ愛の悲惨さが書かれているこの作品を、私は中学生の時に読み衝撃を受けました。人は無限の可能性があるといいますが、それを表現することは非常に難しいことだと感じました。読んだことのない人は是非読んでみてください。(K.M)